

第195回イタリア映画鑑賞会

～50名様ご招待／要事前申込～

福岡日伊協会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策をとり、
会員を対象としたイタリア映画鑑賞会を下記のとおり開催いたしますので、お知らせします。
別紙の注意事項をご確認のうえお申込みいただきますようお願いいたします。

記

- 日 時： 2021年9月28日（火）17:30 開場／18:00 開演（20:00 終演予定）
- 会 場： あじびホール
（福岡市博多区下川端町3-1 福岡アジア美術館8階 / TEL 092-263-1100）
- 入 場 料： 無料／50名様ご招待（要招待券）
- 申込方法： 別紙申込書に必要事項を記載のうえ、FAX またはメールでお申込み下さい。
会員1名様につき、2名様までお申し込みいただけます。
- 申込締切： 2021年9月7日（火）必着
※応募多数の場合は抽選とし、招待券の発送をもって発表とさせていただきます。

<作品紹介>

第 195 回上映作品 『神の道化師、フランチェスコ』 (1950年 82分 イタリア語)

監督／	ロベルト・ロッセリーニ	美術／	ヴィルジリオ・マルキ
脚本／	ロベルト・ロッセリーニ、フェデリコ・フェリーニ、フェリクス・モルリオン神父 アントニオ・リサンドリーニ神父		
出演／	ナザリオ・ジェラルディ修道士、アルド・ファブリーツィ アルベラ・ルメートル、ロヴェルト・ソッレンティーノ神父		
撮影／	オテッロ・マルテッリ		
音楽／	レンツォ・ロッセリーニ		

『神の道化師、フランチェスコ』は、『無防備都市』『戦火のかなた』で世界的監督になったロベルト・ロッセリーニが、彼の作品に感激したイングリット・バーグマンと『ストロンボリ、神の土地』を撮り、結婚した直後に撮った作品です。バーグマンは出ていませんが、フェデリコ・フェリーニが脚本に参加。1946年の『戦火のかなた』のエピソード4で描いたフランチェスコ派の修道士たちの続編のような作品です。

中世の聖人フランチェスコと修道士たちの平和な共同生活を、10のエピソードで淡々と描いています。修道士全員が本物なのもロッセリーニらしい。アッシジの凶暴な君主には、『無防備都市』で最後に銃殺されるドン・ピエトロ神父役のアルド・ファブリーツィが演じているのも面白い。

13世紀、ローマ教皇から布教の許可を得たフランチェスコと同志たちは、サンタ・マリア・デッリ・アンジェリに小さな礼拝堂を建て、“真の歓び”を願って祈りの日々を送っていた。脚本には神父たちも参加。ドキュメンタリーのように話しが進んでゆくと、そこはロッセリーニとフェリーニ、やはり“うまい”。どんどん引き込まれていきます。お楽しみください。（解説 湯越 勘一）

福岡日伊協会 行 9月7日(火)必着
FAX 092-476-2634
Email aigfukuoka2@galaxy.ocn.ne.jp

第195回イタリア映画鑑賞会申込書

2021年9月28日(火)18:00開演
「神の道化師、フランチェスコ」

会員名 _____ (一般・法人)

TEL _____

Email: _____

同伴者名 _____

※ご記入頂いた情報は当イベントの運営のみに利用し、それ以外の目的での利用はいたしません。

【ご来場・ご鑑賞に関する注意事項】 ※必ず下記の注意事項をご確認の上、お申込み下さい。

会場では、ご来場者および関係者の健康と安全を最優先とし、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に努めます。

- 少しでも体調がすぐれない場合は、ご来場をお控え下さいますようお願い申し上げます。また、開催日の2週間以内に37.5℃以上の発熱、新型コロナウイルス陽性者との濃厚接触があった場合のご来場はご遠慮下さい。
- 必ずマスクを着用の上、ご来場・ご鑑賞下さい。マスクを着用されていない場合、入場をお断りいたします。
- 当日、受付時に検温を実施いたします。37.5℃以上の場合は入場をお断りいたします。
- 入場時に必ず、手指の消毒をお願いいたします。
- ロビーなどでは密を避け、他のお客様と出来るだけ距離を取って頂きますよう、お願いいたします。
- 今後の社会情勢により、やむを得ず急遽映画会を中止にする場合がございます。

《お問合せ先》 福岡日伊協会 事務局 新屋・清家
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-3-6 西日本シティ銀行内
TEL: 092-476-2153 / FAX: 092-476-2634
E-mail: aigfukuoka2@galaxy.ocn.ne.jp